

令和元年

萩の寺東光院

魯山人観音



9月15日(日)～24日(火) / 開門時間: 午前9時～午後5時

大阪みどりの百選 萩の寺東光院

〒561-0882 大阪府豊中市南桜塚1丁目12番7号 TEL.06(6852)3002

星岡茶寮ゆかりの魯山人観音 由緒

大阪中津の地より寺基を豊中に移した萩の寺は、昭和七年西国新三十三万所観音第十一番の霊場に推戴されました。このとき高浜虚子の発意で、豊中に閑居していた相島虚叟翁の句碑が山門前に建立除幕されています。

さらに大正十三年北大路魯山人を顧問兼料理長に迎えて、東京赤坂山王台に美食交歓の道場として世を風靡した高級料亭、星岡茶寮が、昭和十年阪急曽根駅前の大飯店を新設します。魯氏は、隣接した観音霊場萩の寺に、星岡飯店で自ら制作した白衣観音像を奉納して、千年の萩の花が咲き誇るその自然美を礼賛し、茶寮の開店繁栄を祈願されました。豊中五勝のである萩の死を、秋露園「はぎのしずくのにわ」と命名したのも魯山人です。

そこで本年、環境万博ともいわれる、愛地球博「開催を記念して、この魯山人観音を愛知県産の小呂青石で等身大に模刻し、戦時中、萩の花を命懸けで守った先人達の気概を、環境保全の先駆者として顕彰させていただきます。

願わくは、この観音様をよすがに、利休の茶事を愛し、かつて阪急曽根萩の寺の風光を愛した文人、墨客、芸術家を偲んでいただき、大阪みどりの百選に選ばれ、人と自然が共生するこの由緒ある萩の寺の環境が、皆様の願いと共に未来永劫に守り続けられていきますように。

なおこの観音さまは水掛け観音さまです。お水を注ぎ洗心してお参りください。この観音さまに賽する人に等しく心願成就せんことを。

慈意妙大雲

澗甘露法雨

至禱

至禱

萩の寺守塔

村山廣甫

平成十七年九月十三日

第117回 子規忌へちま供養 入選句のお知らせ

平成30年9月16日(日) 投句143句

住句	二十句	特選句	五句	
句碑に紅添へて華やぐ萩日和 萩の風句碑に寄り添ひ子規思ふ 子規の忌や写経になじむ萩の筆 萩好きの夫にも供花や子規供養 石仏に枝垂れこぼるる萩の花 白萩の零れ咲き継ぐ子規句碑に 萩揺れて庭静もれる東光院 萩明かりくりりあまたの句碑に念ふ 萩の風に馴染む三年父子句碑 紅白の萩もて祀る子規忌かな 師の句碑に触れつ散りぬしだれ萩	句碑歌碑に蚊遣焚かるおもてなし 萩の寺紅萩こぼれこぼれあり 子規句碑の聖域を守り萩の風 子規句集繙く夜長祖父の古書 句碑に紅添へて華やぐ萩日和 萩の風句碑に寄り添ひ子規思ふ 子規の忌や写経になじむ萩の筆 萩好きの夫にも供花や子規供養 石仏に枝垂れこぼるる萩の花 白萩の零れ咲き継ぐ子規句碑に 萩揺れて庭静もれる東光院 萩明かりくりりあまたの句碑に念ふ 萩の風に馴染む三年父子句碑 紅白の萩もて祀る子規忌かな 師の句碑に触れつ散りぬしだれ萩	懶祭怠りつの働きな忘れそ 雨風に存へて萩咲けるかな 子規句碑へさゆらく萩の余情かな 萩にふれ子規句碑に触れ今日ひと日 空青く子規句碑の辺の秋の蝶 咲き初めし萩の花に歩のことむ 乱れもし風遊ばせて萩の花 秋灯下子規直筆に忘我の境 平成の最後を飾るこぼれ萩 胸に子を抱ふるやうに萩括る 句碑歌碑に蚊遣焚かるおもてなし 萩の寺紅萩こぼれこぼれあり 子規句碑の聖域を守り萩の風 子規句集繙く夜長祖父の古書 句碑に紅添へて華やぐ萩日和 萩の風句碑に寄り添ひ子規思ふ 子規の忌や写経になじむ萩の筆 萩好きの夫にも供花や子規供養 石仏に枝垂れこぼるる萩の花 白萩の零れ咲き継ぐ子規句碑に 萩揺れて庭静もれる東光院 萩明かりくりりあまたの句碑に念ふ 萩の風に馴染む三年父子句碑 紅白の萩もて祀る子規忌かな 師の句碑に触れつ散りぬしだれ萩	豊中市 豊中市 豊中市 箕面市 伊丹市 松原市 八尾市 大阪市 宝塚市 高石市 猪名川町 奈良県 豊能郡 箕面市 箕面市 豊中市 吹田市 豊中市 箕面市 箕面市 大塚千庸子 藤堂 俊英 菊澤さち子 木村美恵子 高田 美子 播磨 武子 武生喜玖乃	金岡 道子 岩田 登世 日下部房子 青木美津子 出口 郁美 仲谷加代子 西浦 幸男 西村 宏 浅野 敬一 小林 忍水 松原 綾乃 荒木 利子 木谷 博美 川端夫佐子 榎原みどり 野村 厚子 渡辺美紀代 稲垣 ゆき 大塚千庸子 藤堂 俊英 菊澤さち子 木村美恵子 高田 美子 播磨 武子 武生喜玖乃

選者「雨月」大橋 咄主宰

